

スピンオフ壁の家が絶対条件
仕事スイッチをオフにして
贅沢な時間を楽しむ大人のの家



奥さまが製作したスタンドグラスが映えるリビングは、モミの木の床にスピンオフの壁を採用し、清々しい空気が満たされている。全面床暖房で、真冬も春のような暖かさ。テレビや壁面収納もあわせて設計・造作しトータルコーディネート

自らが携った施設に断熱性能のある高性能塗料を採用し、その省エネ効果を身をもって知っていたご主人。この塗料を施工できる会社で家を建てたい」と塗料メーカーに相談し、紹介されたのがアヴィエスホームでした。子育てが終わり、少し歩調をゆるめる余裕ができたIさんが望んだのは、夫婦が仲良く、豊かな毎日を楽しむ大人の住まい。〇〇他社の展示場も参考程度に見ましたが、私たちのコンセプトに合う家はありませんでした。アヴィエスホームは、私たちの意図をすばやく理解して、要望に柔軟に対応してくれました」と話すご主人。毎日使う空間をまとめて、各部屋に入口を2カ所設けて回遊できるスムーズな動線の平屋を希望。収納は、把握できる量を見やすくしまいう機能性を重視しました。素材や水廻りの設備、色などは、奥さまが吟味して運び、素敵な空間が仕上がりました。

夏は涼しく、冬は暖かく、住み心地も抜群で、光熱費も以前よりガンと安くなったそう。年に数回は大勢の親族が集まり、パーティーを催したり、普段はリビングにBGMを流して二人でダンスをしたり、夜は間接照明の優しい灯りの下でテレビや会話を楽しみ、毎日を謳歌しています。「家はスイッチをオフにできる場所。贅沢な時間を過ごしています」と、目を合わせて笑う仲の良いご夫妻です。

次世代の住まい
CASE 58
宮城県牡鹿郡女川町
1さんの家
取材日/2019年3月



リビングと大きな窓でつながり一体となるテラスではお茶や朝食を楽しむことも。約4.5mの天井にはシーリングファンを設置

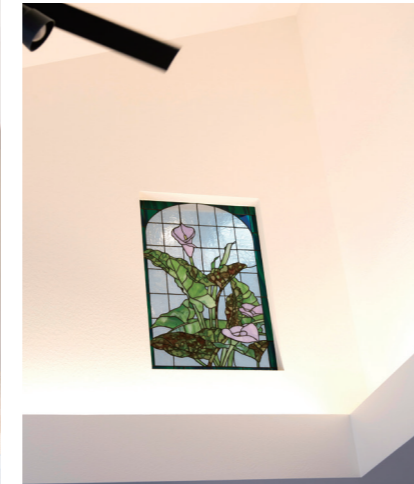
「スピンオフ壁と、風通しのいい設計のおかげで夏は体感温度が低く、サラリとさわやか。エアコンもほとんど使わず快適に過ごせました」



奥さまのご希望で窓の外を眺められるようにキッチンも配置。ご主人との会話も楽しめる。



たくさんのお客様をお迎えする玄関だから、あえて広くしたいと間口3mを確保し、天井には天窓を設けた。絵画や書を飾ってアートギャラリーのように



スタンドグラス製作を習って12年の奥さまが新居に飾りたいと8か月かけて製作した初の大きな作品を壁に埋め込んだ。光の具合で表情が変わる



キッチンのワークトップはキラキラ輝く天然水晶をちりばめた黒。収納するものを想定して選んだシステム収納はホーロー製で家具のような高級感を演出



北米スタイルの家でよく見るカバードポーチのようなテラス。暑い日差しや雨雪を遮る屋根に天窓を設けた。奥さまはここでスタンドグラスを製作



CASE58:宮城県牡鹿郡女川町 1さんのお宅
家族構成:ご主人、奥さま
延床面積:34坪、3LDK
こだわり設備:モミの木の床、スピンオフ、太陽光発電



外構や植栽と調和する矩刈配の屋根が印象的な外観。将来を見据えて玄関アプローチに手すりとしロープを設けた

暮らしやすさ、省エネ性に配慮



寝室はリビングとつながり、トイレを近くに配するなど動線に配慮。ベッドヘッドは間接照明をしつらえた板張りに



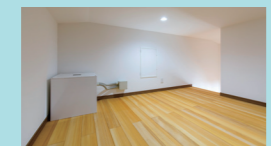
広縁を設けた木質感あふれる洋室。普段は使わないがお客様の宿泊やお孫さんたちが訪れたときの遊び場にも重宝



天井が高い廊下。収納は奥行きより幅を重視して見やすく



太陽光発電パネルを搭載した「ZEH」対応省エネ住宅



急勾配屋根の下を生かした小屋裏収納に蓄電池を設置

担当より一言

営業 浦山

I様ご夫婦と初めてお会いした際、印象は、ご主人は怖そうなお方(今は違います)、奥様は上品なお方、そしてなんと仲の良いご夫婦だろうと思われました。打合せという打合せはほとんど無く、雑談となることが多かったのですが、いつも伺うことは「寒い家は嫌。まかせろ。」でした。正直パレンジャーにも感じましたが色々な建物をご存じの主人からは適切な指摘、奥様からはインテリジェントを伺いつつ、家督等も含めた提案をさせて頂きました。完成後2年ほど経ちますが「快適で出掛けなくなった」という一言は、とても嬉しく、ありがたいお言葉です。今回I様ご夫妻を通じて日々進化する女川町を目的に、女川町のすばらしさを感じられたことは私の人生の中でもかけがえのないものであり、この出会いに感謝しております。今後とも末永いお付き合いをお願い致します。